17 名古屋ガイドウェイバス株式会社 ^{令和2年7月1日現在}

										令和2	<u>年7月1日現</u>	<u>,在</u>
設立年月日 平成6年			文6年4月	月1日 代表者氏名			代表取	締役社長	浅井	愼次		
1	f在地	名さ	名古屋市守山区竜泉			泉寺二丁目301番地			電話番号	052-	758-5620)
	ムページ ド レ ス	httj	p://www	v.guid	eway.co	.jp/						
資本金・基本金 3,000,00				0千円	市出資	·出捐金	1,	900, 000=	千円 (<u> </u>	63.3%)
所	管部局	生宅都市局都市			 都市計画部交通施設管理課		管理課	果 電話者		052	-972-2730)
設	立目的	志段味ヒューマン・サイエンス・タウンの建設が進められている志段味 区と都心を結ぶ交通需要に対応するため、名古屋市東北部の交通結節点 ある大曽根から小幡緑地間の交通混雑の著しい区間を「ガイドウェイバ 志段味線」として高架で整備し、効率的で質の高い交通体系の形成に寄 することを目的とする。					通結節点で ウェイバス	でス				
	事業名			^{令和元年度} 営業収益			事業の概要					
主な事業	運輸事業	輸事業		703,458千円 ガイドウェイバスシスラける旅客輸送		テム志段味線軌道区間にお						
<u> </u>				 常						勤割	- 常	勤
役職	———— 役	役員数			3人 (うち市			派遣) 0人 (うち市OB)				人
員数	職	 員	数		27	7人 (うちす	·派遣)	2人 (うち)	foB)	3人		人
常勤役員平均 (市派遣職員を附			4, 69	9千円		職員平均		4, 862	千円 平	規職員 均年齢	46	歳
				2	平成29年	度	平月		(117)		 元年度	П
市か	委託料			44,043千円			49,014千円		千円	48,890千円		円
ら	内 随意契約金額			(44,043千円)			(49,014千円)		千円)	(48,890千円)		円)
の財	袝	献助金		0千円			0千円		千円	0千円		
政支		它管理》	料	0千円			0千円		千円	0千円		
文 出	貸付金		18億円		18億円		意円	18億円				
指 ^企		経常収益			717,013千円			741,904千円		716,682千円		
益量	経	経常費用			699,807千円			727, 141千円		733, 789千円		
損益計算書)	経常利	益(損	失)		17, 2	206千円		14, 762	千円	A	17, 107千日	円
書等	当期利	益(損	失)		16, 2	249千円		13, 696	千円	A	18, 084千月	円
	糸	総資産			1,423,578千円			1,317,143千円		1, 265, 583千円		円
ا بدير	Þ	内 流動資産		(763, 460千円)		(688, 919千円)		千円)	(658, 996千円)		円)	
貸借対照表		内 固定資産等		(660, 118千円)		(628, 224千円)		千円)	(606, 587千円)		円)	
	総負債			2, 116, 523千円			1,996,392千円			1,962,917千円		-
照	Þ	内 流動負債			(316, 495千円)			(982, 832千円)		(948, 835千円)		円)
衣 		内 固定負債等			(1,800,028千円)			(1,013,561千円)			(1,014,082千円)	
	純資産(正味財産)			▲ 692,945千円			▲ 679,250千円		▲ 697,334千円			

経営に関する指標(共通指標)

17 名古屋ガイドウェイバス株式会社

〇法人の自立性	平成30年度	令和元年度	対前年度増減
市からの収入割合 (素託料・補助金指定管理料) 経常収益	6.6%	6.8%	+0.2%
市との随意契約比率(市との随意契約金額 市からの委託料総額)	100.0%	100.0%	0.0%
	令和元年7月1日現在	令和2年7月1日現在	対前年増減
市職員の役員就任割合 $\left(egin{array}{cc} - rac{ h 職員の役員数 }{ $	44.4%	44.4%	0.0%
固有職員比率 (常勤國有職員数)	14.8%	14.8%	0.0%
〇組織運営の効率性	平成30年度	令和元年度	対前年度増減
販売·管理費比率 $\left(\frac{\mathbb{K}_{\overline{n}} \cdot \mathbb{K}^{\overline{n}}}{\mathbb{K}_{\overline{n}} \setminus \mathbb{K}} \right)$	11.5%	11.2%	▲0.3%
〇財務の健全性	平成30年度	令和元年度	対前年度増減
自己資本比率 (無資産(正味財産)	▲ 51.6%	▲ 55.1%	▲ 3.5%
流動比率	70.1%	69.5%	▲0.6%
固定長期適合率 (固定資産)	187.9%	191.5%	+3.6%
借入金依存度 (一借入金+社債——)	135.7%	141.2%	+5.5%
剰余金(欠損金) (純資産(正味財産) -基本金・資本金)	▲ 3,679,250千円	▲ 3,697,334千円	▲ 18,084千円

○ 経営戦略計画(H29~H31)の概要

経営戦略方針

ガイドウェイバスシステムの特性である安全性、高速性、定時性、快適性を維持しつつ、沿線住民や企業などのニーズを的確に把握して、お客様の立場に立った運行を心掛けるとともに、新たな需要を積極的に掘り起こすことで、安定的な経営を行っていきます。 また、設備機器の経年的な劣化に対処するため的確に更新を行い、次期車両の更新に向けた準備も早期から開始します。 さらには、人材の確保にも努め、安心・安全な輸送体制を維持していきます。

主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標(単位)	31 目標値	31 実績値
経営の安定化に向けた取り組み 公共サービスの充実】【財務内容の改善・向上】【効率性の発 軍と成果】 付帯事業等の更なる収入増加に向けた取り組み	利用人員の増加(人/日)	12,447人	12,178人
	経常損益(千円)	黒字	赤字 (▲17,107千 円)
	ウォーキングイベント等の実施によるPR	3回 延べ800人	4回 延べ1,044人
附帯事業等の更なる収入増加に向けた取り組み 【財務内容の改善・向上】【効率性の発揮と成果】	附帯事業等収入(千円)	5,195千円	5,966千円
輸送の安全の確保に向けた取り組み 【公共サービスの充実】【人材力・現場力の強化】	運行の安全性の確保事故件数(件/年)	0件	0件